



全国保健師長会 ニュース

平成 31 年 3 月 運営会議発行
No 4

平成 30 年度 第 2 回 拡大常任理事会

この号の内容

- ✿ 拡大常任理事会
- ✿ 日本保健師連絡協議会
集会



◎ 拡大常任理事会

✿ 日時：平成31年3月2日（土）10:00～12:00

✿ 会場：日本看護協会会議室

1 開会

冒頭に青柳会長から挨拶があり、1月に第7回公衆衛生看護学会学術集会で有意義なワークショップが行われたこと、また、本日午後には日本保健師連絡協議会の活動報告集会が行われ、「保健師の技術を可視化し、未来につなぐ」というテーマで、全国保健師長会からは山野井副会長が「災害時の保健活動の推進」というテーマで発表する話がありました。

2 議事

(1) 平成 30 年度代議員総会について

平成 30 年 11 月 10 日にアイリス愛知で行われた代議員総会の報告がありました。今後の課題についても、選挙に伴う課題が何点か報告されました。報告書には、当日を迎えるにあたって活動してきた1年のタイムスケジュールや役割分担等をまとめた内容が配布されました。

(2) 2020 年度に向けた国への要望について

2020 年度の地域保健施策および保健活動の推進に関する要望書について、平成 31 年 1 月 8 日～2 月 15 日までに提出があったものについて、まとめられた要望書(案)が配布されました。中には昨年度のものも入っているため、検討事項について、コメントが入れているので、その内容をそれぞれ精査してほしいと担当理事より話がありました。意見を出す場合の様式を作成し、支部長あてに依頼をかけることになりました。

(3) 平成 31 (2019) 年度調査研究事業について

平成 31 (2019) 年度全国保健師長会調査研究事業(独自事業)の募集について、年々応募が少なくなっているため、周知をお願いします。

(4) その他

- ・平成 31 (2019) 年度年間計画 (案) について

毎月の運営会議、年 1 回の常任理事会、年 2 回の拡大常任理事会、年 3 回の理事会、代議員総会、全国保健師長研修会等の日程が入った年間計画が配布され、説明がありました。

- ・平成 31 (2019) 年度役員・理事・委員について

平成 31 (2019) 年度の役員名簿が配布されました。

- ・平成 31 (2019) 年度講演会について

平成 31 年 4 月 20 日 (土) 15 : 30 ~ 17 : 00 に TKP 東京駅セントラルカンファレンスにて、講演会、その後意見交換会が同会場で開催されます。

3 報告事項

(1) 健康日本 21 推進に関する特別委員会から

1) 厚生労働科学特別研究事業

「アレルギー疾患に対する保健指導マニュアル開発のための研究」

2019 年 1 月に「アレルギー疾患についての保健指導」に関するアンケートを実施し、それを取りまとめて、「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」を作成中という報告がありました。手引きの PDF は厚生労働省と日本アレルギー学会が運営する「アレルギーポータル」より、無償でダウンロードできます。

2) 委員会報告

第 2 次健康日本 21 として、保健師が今やるべき地域包括ケアの取組みについて、体系図を作成しました。

(2) 保健師活動指針推進特別委員会から (30 年度調査報告)

平成 29 年度の調査に加え、保健師活動指針の策定方法や策定の効果、統括保健師が果たしている役割の補足調査の結果報告がありました。指針策定がそれぞれの自治体の課題の整理や県と市町村の役割を明確にすることに繋がり、また課題の改善に向けた取組みへ結びつけるためには統括保健師の役割が重要であることなどが明らかになりました。

(3) 40 周年記念事業特別委員会から (40 周年記念誌について)

40 周年記念事業の締めくくりとして、残すは 40 周年記念誌の完成のみとなりました。

(4) 学会・学術に関する委員会から

第 7 回日本公衆衛生看護学術集会で「地域に責任を持つ保健師活動～管理期としての学びと継承～」としてワークショップが行われました。資料は全国保健師長会のホームページ掲載予定です。

4. 閉会

閉会にあたり、今年度で役員を退任される方全員より、挨拶が行われ、閉会となりました。

◎日本保健師連絡協議会 平成 30 年度活動報告集会

❖日時：平成31年3月2日（土）13:30～16:30

❖会場：日本看護協会 JNA ホール



「保健師の技術を可視化し、未来へつなぐ」をテーマに6団体から活動報告集会が開催され、教育機関や行政機関、産業保健分野等で働く保健師が集まり、グループディスカッションでは活発な意見交換が行われました。

初めに、来賓として、厚生労働省健康局健康課保健指導室の加藤典子室長、厚生労働省労働基準局労働衛生課産業保健支援室の小沼宏治室長が挨拶されました。

次に話題提供1「看護基礎教育検討会及び保健師ワーキングの進捗報告」では、20年後に求められるのは何か、多様な場で他職種と連携することが求められてきていること等について、看護基礎教育を2018年4月より検討していることが報告されました。

話題提供2「保健師の公衆衛生看護技術」では、保健師の看護技術とは何かについて、公衆衛生看護技術の定義や米国ミネソタホイール、英国の保健師の原則などが紹介されました。

続いて、活動報告として、平成30年度日本保健師連絡協議会幹事会開催状況の報告の後に、①一般社団法人日本公衆衛生看護学会、②公益社団法人日本看護協会、③一般社団法人全国保健師教育機関協議会、④日本保健師活動研究会、⑤一般社団法人日本産業保健師会、⑥全国保健師長会の6団体から、それぞれ活動報告がありました。

その後、話題提供2に関連して、「保健師の技術は何か」をテーマにグループディスカッションが行われました。与えられた時間を超えての活発な意見交換がそれぞれのグループで展開されました。2グループから話し合いの内容の発表が行われ、話題提供をされた岸先生より総括が行われました。

最後に次年度代表幹事の日本看護協会の鎌田常任理事より挨拶が行われ、閉会となりました。



(作成：広報委員会)